

真福寺 神奈川県横浜市青葉区荏田町 432-8

文化13年(1816)に作成された『新編武蔵風土記稿』には真福寺の記載があるのでそれ以前と考えられている。一方、寛政元年(1789)に造立されていた観音堂に廃寺になった真福寺の薬師如来と釈迦如来立像および同時期廃寺となった無量寺の阿弥陀如来立像も移し、千手観音立像とともに合祀され、現在の真福寺となったが秘仏のため未公開(境内掲示板)。

境内には、横浜市の名木古木として指定されている樹木が2つある。1つは樹齢200年ほどと推定される銀杏、もう1つは樹齢400年ほどと推定される萱である。

また、門前には地蔵堂と庚申塔があり、本堂脇には大日如来坐像安置角柱(札所碑)と敷石供養塔がある。



本殿



参道前(門前)にある地藏堂と庚申塔



大日如来坐像安置角柱(札所碑)と敷石供養塔



樹齢400年と推定の萱の木

